ミツバチの羽音と地球の回転

鎌仲ひとみ監督作品

未来のエネルギーをどうするのか？

祝島とスウェーデンでエネルギーの自立に取り組む人々の物語

7月9日（土）
①14:30～16:45
②18:15～20:30

大宮ソニックシティ国際会議室

埼玉県保険医協会

◆ “脱原発” 公開勉強会 ―映画上映会のご案内― ◆

うら面に申込み

監督メッセージ

ミツバチの羽音と地球の回転

ここで生きていく決意が世界を動かす

瀬戸内海祝島では自給自足的な暮らしが営まれ、漁師やおばちゃんたちがきれいな海を守りたいと28年間も原発建設に反対してきた。島で一番若い働き手、孝くんはエネルギーの自給もしたいと望んでいる。しかし、圧倒的な経済力と権力が原発建設を推進し続けている。一方、北欧のスウェーデンでは脱石油・脱原発を決め、着実にエネルギーを自然エネルギーへとシフトし、持続可能な社会づくりが進んでいる。
どうしたら未来のエネルギーを自分たちの手で選択し、作り出せるのか。私たちと全く同じ普通の人々の感性と思いが国を超えて交差し、新しいビジョンを描きだす。未来を待たずに、今、未来を作り出す現場がここにある。自然と共振し、エネルギーを生み出すミツバチのような人々の羽音が聞こえてくる。

鎌仲ひとみ

生存権の一つとして、何によって作られた電気を使うか、
核なのか、風なのか、太陽の光なのか、選ぶ権利があるはず。

坂本龍一（音楽家）

世界をたった一つの思考法が覆い尽くしている。
その思考法と向かいあい、生存のための「祝島型モジュール」を
生き延びさせ、それらをたがいに結び合わせていくこと。
それだけが、人類の命運を変えうる唯一の道。

中沢新一（人類学者）

気付いた人達が確かな行動を起こしている。
その事実に出会う時、私達は知恵と勇気を分けてもらえる。
そして、野花を小瓶に飾るようなユーモア。
今、この国にとって最も重要な映画だと思います。

UA（歌手）

上関原発予定地（山口県上関町田ノ浦）
1982年に持ち上がった中国電力の原発建設計画。予定地の対岸に浮かぶ祝島では千年も前から自然と共にある暮らしが続いてきた。島民は未来の世代に豊かな海を残したいと計画に反対し続けている。予定地周辺には絶滅が危惧される多様な希少生物が生息している。

祝島自然エネルギー100%プロジェクト
祝島島民が主体となり、自然エネルギーで100%自立する島を目指すためのプロジェクト。

1% for 祝島
企業、団体、個人、アーティストなどが売上げの1%を寄付することで「祝島自然エネルギー100%プロジェクト」を資金面で支援するためのプログラム。
キャンペーンロゴは原田征太郎氏デザイン。

全国600ヶ所以上で上映され、大きな社会的反響をよんだ「六ヶ所村ラプソディー」(06年)より4年―。「ヒバクシャ―世界の終わりに」、「六ヶ所村ラプソディー」に続く、鎌仲ひとみ × グループ現代が世に問う〈三部作〉ついに完成!

必聴、映画のオリジナルサウンドトラック

Ashes to Honey
searching for a sustainable future
売り上げの1%が「祝島自然エネルギー100%プロジェクト」に寄付されます。

○日　時　2011年7月9日（土）　1回目　14:30 ～ 16:45
　　2回目　18:15 ～ 20:30

○会　場　大宮ソニックシティ「国際会議室」（大宮駅西口徒歩3分）
〒330-8669　さいたま市大宮区桜木町1−7−5　TEL:048-647-4111

○参加費　お一人様、会員・協会関係者500円、一般1000円
（全額、大震災の被災地支援のために送金します）

○参加方法　①以下の申込み欄にご記入のうえ、FAX（048-824-7547）にてお申し込みください。
②記入し送信したFAX用紙を当日、会場にご持参ください。ご持参いただくと、会員・関係者の参加とさせていただきます。

7月9日(土)公開勉強会“ミツバチの羽音と地球の回転”上映会に参加します

会員名		医　療 機関名	
□会員本人が参加しない場合は、チェックしてください			
会員以外 の 参加者名		TEL	
		参加する回を チェックしてください	□1回目 □2回目
		参加人数	人

FAX（048−824−7547）